

## 03 「Gift of Ise」 プロデュースプロジェクト

## 懐かしの伊勢と繋ぐギフト

私たちの活動では「伊勢らしいギフト」をコンセプトに「皇學館オリジナルばんじゅう」を伊勢市のふるさと納税返礼品としてプロデュースしました。長い歴史をもつばんじゅうと、かつて倉陵祭で制作された樽神輿を組み合わせることで、本学の卒業生や伊勢に住んでいた方に懐かしさを感じていただけるギフトになっています。

メンバー数：6名  
活動場所：伊勢市  
実施主体：伊勢商工会議所  
担当教員：池山 敦（教育開発センター）  
活動年度：R04,R05



## 1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

初めに、この活動では「ばんじゅう」をふるさと納税の返礼品にすることで、地元伊勢に貢献するとともに伊勢の魅力をより多くに方々に知ってもらうことを目指して商品選定から梱包までを行いました。最初に考えたことは、「卒業生が懐かしいと感じる皇學館大学らしいモノとは何か」についてです。活動に参加しているメンバーは学生や先生方にアンケートを取り、皇學館大学を思い出すモノについての調査を行いました。調べたら情報を元にギフトの対象となる客層を決めました。様々な事柄を学ぶことで伊勢で愛されてきたものがどんなものか、どのような歴史をもっているものなのかを詳しく知ることができました。実際にお店に足を運び、商品が作られる課程を見学させてもらったことで、地元ならではの味を届けて伊勢の魅力を発信していきたいという想いがより一層強まりました。今回は伊勢にゆかりのある食べ物を選びました。商品の購入や発送の仕方、なぜこの商品が生まれたのかについてのお話を担当者の方から伺いました。生産者の方と直接お話をすることは滅多に無いので、貴重な経験になりました。また、皇學館大学のオリジナル焼印制作では卒業生が伊勢で過ごした時の懐かしさを出すためにはどのようなアイデアにすることが一番良いのかを考えながら取り組みました。この作業はとても苦勞しましたが、結果として樽神輿を思いつくことができました。活動メンバーと協力して取り組んだことで、この商品を手にとって下さった方に、伊勢の魅力を伝えることができるような商品を選ぶことができたと思います。商品を包む箱については形、デザインなどをメンバーと相談し、商品がどんなものであるかを分かりやすくするために和風なデザインのものを選ぶように心掛けました。今回のCLL活動を通して商品を手にとってもらい、皇學館大学を思い出して頂ければ嬉しいです。

## 月別活動

- 6月 ギフトのテーマについて討論
- 7月 商品選定
- 8月 商品決定
- 9月 店への訪問
- 10月 デザインについて
- 11月 焼印の作成
- 12月 販売開始



## 活動を通して学んだこと

今年度は、本学卒業生に「伊勢を懐かしんでもらいたい」という思いから、伊勢市ふるさと納税の返礼品として、皇學館大学オリジナルばんじゅうを企画しました。ばんじゅうには、本学の伝統行事である倉陵祭でかつて担がれていた樽神輿をイメージした焼き印が押してあります。商品開発に至るまで、卒業生と商品との結びつきを考えることが難しかったです。ですが、メンバー同士で意見共有をする際には、ただ意見を述べるのではなく、良い点や改善点も述べられていたのが良かったと思います。このことを通して、聞く力やコミュニケーション力は、意見共有の場に積極的に参画することで身に付くということを学びました。

## 実施主体からのコメント

伊勢商工会議所  
ご担当者様

当プロジェクトは、単に商品を開発し販売するだけでなく、伊勢の歴史や文化について丁寧に見直し、新たな価値を創出する良い機会となりました。ふるさと納税の返礼品として、伊勢市の魅力を全国に広める産学官連携の成功事例となり、伊勢商工会議所としても大きな達成感を感じています。



## 担当教員より

## 教育開発センター 池山 敦

「伊勢らしさとは」というところを考えました。特に、卒業生の皆さんに伝えるには、どんな「伊勢らしさ」「皇學館大学らしさ」があるだろうか、と議論した結論が今年度は商品として結実しました。多くの方にお買い求め頂きましたし、現在もふるさと納税の返礼品として登録されています。今後もぜひご利用頂きたいところです。商工会議所さんや、製造元とのやり取りの中、丁寧に一つ一つ課題を解決していくプロセスを学ぶことができたと思います。

## 📢 こんな人におすすめ！

- ・お土産に興味のある人
- ・コミュニケーションをとることが好きな人

## 成果物 / 制作物

